

# 長野県松本あさひ学園福祉サービス評価委員会報告

日 時：平成 24 年 3 月 26 日（月）午前 10 時～11 時

場 所：松本あさひ学園 心理治療室 2

出席者：委員 6 名中 5 名出席

## 会議概要

### 1 事務局から平成 23 年度事業報告（事業報告書による）

### 2 意見交換

委 員	退所後の保護者への対応という面では、どのように連携を取っているのか。
学 園	保護者へのアフターフォローについては、家庭状況も様々で、個別対応にならざるを得ない面がある。現在、「目安」に基づき対応しているが、個別にどのくらいのアフターフォローが適切か、今後更に具体的にしていきたい。
委 員	地域になじんでやっているのは理解できる。地域のボランティアで「草取り等に関われたら。」と思っている人がいるが、どう対応するのか。
学 園	来年度は、ご提案いただいた草取りのようなボランティア、日常生活を豊かにするボランティア、学習ボランティア等積極的に取り入れていきたいと考えている。今後も情報等をいただきたい。
委 員	児相の相談の中で発達障害の相談が増えている。学校で発達障害に由来する問題のある子どもが増えている、あさひ学園へと名前があがることも多くなった。親の支援の必要も同様に出ている。今後も連携が必要である。
委 員	これからも学校と学園との協力は不可欠である。発達障害の子どもが多く在籍している中、音・味に敏感な子が多い。発達障害を持つ児童に適切な食事といった面についても考えて欲しい。
委 員	地域の夏祭りや文化祭等の行事に積極的に参加していただきありがたいと思っている。他にも地域の中での行事の案内をしていきたいし、参加のための便宜も図りたいのでよろしくお願いしたい。
学 園	学園も積極的に参加したいと思っている。これからもよろしくお願いしたい。